

テーマ ふるさとの未来を担う高校生育成のための地域課題解決型キャリア教育

目標 地域が抱える課題を発見し、地元市町や専門家の協力を得ながら、その解決策を探究し、ふるさとに貢献したいという人材の育成に取り組むことを目指す。

育成したい資質・能力

- 情報収集能力
- 地域の課題発見能力
- 説得力のある意見を見出す力
- 発信する力

長崎県立川棚高等学校 (普通科、生活総合科 1年、2年、3年 生徒数274名)

究理OUS運営委員会 校長、教頭、教務主任、教務副主任、進路指導主事、総合的な探究の時間担当(進路担当・各学年担当)、地歴公民科

外部連携機関
(行政機関・事業所)
(大学・専門機関)

- 川棚町役場総務課
- 川棚小学校
- 小串小学校
- 川棚特別支援学校
- 川棚国際大学
- 老人ホームひさご荘
- 職場訪問先(ルシアンナガサキ・川棚カイトックファクトリー・バーカリーミミック・みつばこども園)

連携・協働

<主な取組>

- 生き方研究 地域の様々な企業や大学等の講師による「生き方探究」として講演や講話を実施し、将来の夢と自分の適性を考える。
- 地域研究 地域社会の諸問題について多角的・多面的に考察し、建設的な意見を持ち、さらに、地域について探究を進める中で、課題発見能力を育成し、身の回りの課題について解決する方法について意識させるとともに、積極的に関わろうとする姿勢を身に付ける。
- 論理コミュニケーション 「文章の設計図」を用いて論理的な文章を書く活動を通して、根拠と事例に基づき、自分の意見を発信する力(論理的に伝える力)を身につける。また、「論理的に伝える力」を活かして、探究活動において、調査したデータや事例に基づき、論理性の高い論文を記述したり、論理的に議論したりできるようにする。
- 主権者教育 政治的教養教育の一環として、話し合いの手法や意見のまとめ方を実践により学び、地域の課題について考察する。

成果指標

- (1) 将来の夢と自分の適性についてしっかり考える生徒の割合 (80%)
- (2) 地域社会の諸問題に関心を持ち、その問題に積極的に関わろうとする生徒の割合 (80%)
- (3) 論理的に伝える力を育成するために授業改善を行った職員割合 (80%)
- (4) 将来ふるさとの発展に貢献したいという意識が高まった生徒の割合 (80%)

地域社会 (保護者を含む地域住民、産業、文化、歴史等)